



平成30年4月27日

各位

会社名 ミサワホーム中国株式会社
代表者名 代表取締役社長 南雲 秀夫
(コード番号1728 東証)
問合せ先責任者 執行役員管理部長 服部広征
(TEL 086-245-3204)

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成30年4月27日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向を踏まえ、平成29年5月8日の平成29年3月期決算短信発表時に開示した平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

また、平成30年3月期において、下記のとおり特別損失を計上する見通しとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	30,000	410	400	270	23.46
今回修正予想(B)	27,600	180	200	△700	△60.84
増減額(B-A)	△2,400	△230	△200	△970	—
増減率(%)	△8.0	△56.1	△50.0	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	35,942	1,424	1,419	760	66.12

2. 修正の理由

平成29年5月8日に公表しました平成30年3月期通期業績につきまして、当社は第1四半期の販売実績は、前期を上回ったものの、第3四半期・第4四半期では前期販売実績を下回り、売上高において予想を下回る結果となりました。また、利益面では受注業務効率化やコスト削減により収益性の改善が進んでおります。分譲事業ではマンション分譲の受注は堅調に推移しておりました。一方、建売販売においては、第4四半期での受注において、前年同期並みの当期売上寄与分を予想しておりましたが、受注で予想比50.0%、売上で予想比42.9%と低迷いたしました。

この結果、連結業績予想、個別業績ともに売上高は想定以上に減少し、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに減少する見込みとなりました。

これにより、固定資産につきましても、減損の兆候が見られたため「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき特別損失に減損損失を計上する見込みです。

つきましては、平成29年5月8日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想を修正いたします。

3. 特別損失の計上について

当社が保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損の兆候が認められる当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失を特別損失に計上するものであります。

所在	用途	種類
岡山県岡山市ほか	営業拠点資産ほか	建物・構築物、土地ほか

特別損失に計上した減損損失の内訳は、次の通りであります。

建物・構築物	20	百万円
土地	759	
無形固定資産	9	
計	789	

※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上